

2026 年 9 月 19 日

【SUPER GT 第 6 戦 /スポーツランド SUGO】 大会直前情報



9 月 19 日(土)、20 日(日)の 2 日間、スポーツランド SUGO で 2026 年 SUPER GT 第 6 戦が開催されます。年に一度の東北決戦に、GT500 クラス 1 台、GT300 クラス 17 台、計 18 台がヨコハマタイヤを装着して挑みます。

全長 3,586m、中高速コーナーが連続するチャレンジングなレイアウトのスポーツランド SUGO は、ドライバーの意地と高いコントロール能力が試されるサーキット。全長が短い分、レースではどのタイミングでも GT500 クラスと GT300 クラスが交錯し、バトルの多さが魅力の一つです。ただし、「SUGO には魔物が棲んでいる」と言われることもあったように、コースのコンパクトさからアクシデントが起きることも多く、「チェッカーを受けるまで勝負の行方が分からない」というような、手に汗握る戦いが何度も繰り広げられてきました。

今シーズン、鈴鹿での第 5 戦を終えて GT300 クラスではリアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R（ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手／木村偉織選手）は現在ランキングトップ。昨年の SUGO 大会では 2 位表彰台に着けており、今回も期待がかかる 1 台です。「ライバル含め毎シーズン状況は違いますから、去年と同じように周り比べて高いパフォーマンスを発揮できるとは言い切れません。ただ、どんなレースでも自分たちは全力を尽くすだけ。これまでのところ、タイヤチョイスはうまく行っていますし、今回も同じようにできると期待しています」とオリベイラ選手。チームメイトの木村選手も、「前戦の鈴鹿ではサバイバルレースの中で生き残ったの 5 位。パフォーマンスだけで言えば厳しい状況でしたが、そんな中でも自分たちのベストを常に出し続けた結果が今の位置なのだと思います。そういう意味でも、今回も同じように自分たちができることをしっかりと果たしていきたい」と意気込みを語りました。



また、ザック・オサリバン選手がランキング 3 位に着けている CARGUY Ferrari 296 GT3 EVO(ザック・オサリバン選手／梅垣清選手)は、昨年の鈴鹿で勝利を収めた直後の SUGO 大会で、ウェイトを積んだ状態でポールポジションを獲得する速さを見せました。オサリバン選手は、「今年は車両が EVO モデルになっているので去年と全く同じとは言えませんが、フェラーリとしてはトラックとの相性はいいのではないかと思います。今回の予選も期待していますが、サクセスウェイトに加えて給油リストラクターのハンデもありますから、決勝は理想的にはいかないかもしれません。でも、少しでもいい結果を目指して頑張るだけです」と今大会に向けた抱負を語ってくれました。

GT500 クラスの WedsSport BANDO H GR Supra(国本雄資選手／阪口晴南選手)は、前回の鈴鹿大会予選で Q2 に進出。決勝ではタイヤにトラブルを抱え後退したものの、ファステストラップを刻み速さをアピールしました。シーズンも後半戦に入りライバル勢が重いハンデを抱える中、上位入賞を目指して大会に挑みます。

台風の影響で天候の読めない一戦ですが、どんなコンディションでも各チームが最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ヨコハマタイヤはサポートしていきます。